



# 診断未確定リウマチ性疾患の病診連携モデル構築

日本リウマチ学会／ファイザー 公募型 医学教育プロジェクト助成  
外部審査プロセス

## I. 背景

一般社団法人日本リウマチ学会は、革新的な教育および変革戦略を実行するため、ファイザーと提携契約を締結しました。

日本リウマチ学会は、「リウマチならびに近縁疾患の診療内容の向上を通じた社会貢献」を目的とし、医療従事者が適切な標準治療を実践して患者のアウトカムを改善することを可能とする質の高い教育および変革マネジメントプロジェクトを推進することに関し、ファイザーと同じ目標を掲げています。

ファイザーの Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体が立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

この医学教育プロジェクト助成は、医療現場において生じているナレッジギャップやプラクティス・ギャップ(医学的・科学的知識はあるけれど、実際の診療や看護などの実践・行動に移せていない、またはその実践・行動が普及していない)や、“クオリティ・ギャップ”(医学的・科学的知識はあり、実際の診療や看護など、実践・行動はしているけれど、良い結果・成果が得られない)を埋めるためのプロジェクト、すなわち、医療従事者の行動を変革するプロジェクトに対し、助成金として支援するものです。

## 背景(続き)

助成金支援の対象となるプロジェクトについての具体的な内容や、審査／承認のスケジュールなどは、本公募内に掲載しています。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

## II. 応募資格

対象国	日本
申請団体要件	<p>以下の施設・団体に所属する方が申請可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関</li> <li>○ 医療系の学会（日本リウマチ学会の各支部会は除く）など</li> <li>○ 医療系の財団法人・NPO 法人（疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など）</li> <li>○ 医師会・薬剤師会・歯科医師会</li> <li>○ その他医学教育を事業としている団体（医学教育情報を提供している出版社など）</li> </ul> <p>他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。</p> <p>単位供与を行うプログラムでは、申請団体は当該単位の認定された団体であることとします。</p> <p><b>[留意点]</b></p> <p>利益相反の観点より、日本リウマチ学会理事と同じ医療機関に所属する方は申請できません。</p>

## III. 公募詳細

公募開始日	2022年2月16日
公募対象疾患	リウマチ性疾患
本公募の目的	<p>本プログラムは、日本国内の各地区の地域的特性あるいは患者背景など、各地区の診療状況に合わせた診断未確定リウマチ性疾患の病診連携モデル構築プログラムを募集し、当該プログラムの実践を通じて、各地区のリウマチ専門医と非専門医が一体となって診断未確定リウマチ性疾患の診療に取り組むことができる体制を各地区で確立することを目的とします。</p> <p>本公募では、日本の3地区（①関東地区、②中部地区、③中国・四国地区）を対象とします。</p>

	<p>[留意点]                  介入試験、臨床試験、非臨床試験、疫学研究などの研究を含むプロジェクトは助成対象外です。研究への支援につきましては、弊社ウェブサイト「<a href="#">研究者主導研究への助成</a>」をご確認ください。                  また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。</p> <p>その他の留意事項につきましては、弊社ウェブサイト「<a href="#">公募型医学教育プロジェクトへの助成</a>」をご確認ください。</p>
<p>プロジェクトの対象者</p>	<p>医療関係者（リウマチ専門医及び地域医療関係者など）</p> <p>* 対象者が「患者のみ」の教育プログラムは、本公募の対象外です。</p>
<p>本公募の背景</p>	<p>地域における preclinical rheumatoid arthritis を含む診断未確定リウマチ性疾患の診療体制の確立には、エビデンスと地域の実態に基づく地域医療関係者に対する教育・啓発が急務となっています<sup>1)</sup>。そのためには、非専門医に対する教育システム（どのような臨床徴候あるいは検査結果が得られた場合にリウマチ専門医への紹介が必要かを教育するシステム）とリウマチ専門医へ紹介するためのネットワーク構築およびリウマチ専門医に対する教育システムが必要であり、これらを実践するためのモデルプログラムが求められます。</p>
<p>関連するガイドラインなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EULAR recommendations for the management of rheumatoid arthritis with synthetic and biological disease-modifying antirheumatic drugs: 2019 update. Smolen JS, et al. Ann Rheum Dis 2020;79:685–699.</li> </ul>

<p><b>現状課題</b></p>	<p>EULAR リコメンデーション 2019 年改訂版<sup>2)</sup>における研究課題の最初に以下の内容が記載されており、近年注目されています。</p> <p>EULAR リコメンデーション 2019 年改訂版における研究課題</p> <p>① 関節リウマチの前駆症状がみられ、関節リウマチを発症するリスクが高い患者 (preclinical rheumatoid arthritis) において特定の治療を推奨するための十分なデータがあるか</p> <p>本邦において、preclinical rheumatoid arthritis を含む診断未確定リウマチ性疾患という概念が十分には浸透しておらず、何らかの症状や所見を有していても専門医に紹介されないことが想定されることから、リウマチ性疾患の診療におけるネットワーク構築などの体制整備と地域医療連携に対する教育・啓発が急務となっています<sup>1)</sup>。現状課題として以下のような内容が考えられます。</p> <p>現状課題</p> <p>① 非専門医に対する教育システムの開発・実践                  ② リウマチ専門医へ紹介するためのネットワーク構築                  ③ リウマチ専門医に対する教育システム開発・実践</p>
<p><b>本公募の助成額</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成総額: 9,000,000 円</li> <li>プロジェクト 1 件あたりの上限額: 3,000,000 円</li> </ul> <p>助成額は、外部有識者などによる審査会にて決定されます。</p>
<p><b>締切日など スケジュール</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募開始日: 2022 年 2 月 16 日</li> <li>申請締切日: 2022 年 4 月 20 日 — <b>【締切延長】 5 月 11 日</b></li> <li>審査: 2022 年 6 月</li> <li>審査結果通知: 2022 年 8 月</li> </ul> <p>助成金はファイザー株式会社との契約締結後、支払い手続きが行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>助成金を使用したプロジェクトの実行: 2023 年 1 月～2025 年 12 月 (1 年間～3 年間)</li> </ul>

<p><b>申請方法</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。 <a href="https://www.cybergrants.com/pfizer">https://www.cybergrants.com/pfizer</a></li> <li>初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。</li> <li>申請に必要な情報を申請システムに入力してください。             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 申請に際しては、こちらの<a href="#">申請の手引き</a>をご参照ください。                 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Project Type は “Quality Improvement” を選択してください。</li> <li>○ Primary Area of Interest は “Rheumatoid Arthritis” を選択してください。</li> <li>○ Competitive Grant Program Name は “2022 I&amp;I JP: Establishment of Hospital-Clinic Collaboration Model for URD” を選択してください。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>プロジェクト申請書(Full Proposal/Project Description)は、7 ページの Appendix 「プロジェクト申請書様式」を確認の上作成しシステム内にアップロードしてください。このプロジェクト申請書(Full Proposal /Project Description)のみ日本語での記載が可能です。</p> <p>システム上の不具合・エラーなどが生じた場合は、ページ下部にある“Technical Questions”よりお問い合わせください。</p> <p><b>注意事項:</b> 申請タイプ間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。</p>
<p><b>お問い合わせ</b></p>	<p>ファイザー株式会社MEG-J事務局 megjapan@pfizer.com</p> <p>お問い合わせ際、件名に今回の公募タイトル「診断未確定リウマチ性疾患の病診連携モデル構築」をご記載ください。</p>
<p><b>助成契約</b></p>	<p>助成金が承認された場合、ファイザーと申請者の所属施設・団体が書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、<a href="#">こちら</a>をクリックしてください。</p> <p>ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。</p>
<p><b>審査</b></p>	<p>本公募により受け付けた助成申請は、外部審査委員会によって最終的な助成の決定が下されます。</p> <p>外部審査委員会は、日本リウマチ学会が選定するリウマチ性疾患領域の専門家を中心として構成されます。</p>



## その他(注意事項など)

ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。

レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。

採択通知後の助成辞退は原則お受けすることができません。申請施設・団体にてプロジェクトが確実に実行できることを、ご申請前にご確認ください。

2022年11月末までに入金手続きを完了する必要があります。申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門・経理部門を含む)における手順を事前にご確認ください。

## リファレンス

- 1) The perspective of patients with early rheumatoid arthritis on the journey from symptom onset until referral to a rheumatologist. *Rheumatology Advances in Practice* 2019;0:1-8
- 2) EULAR recommendations for the management of rheumatoid arthritis with synthetic and biological disease-modifying antirheumatic drugs: 2019 update. *Ann Rheum Dis* 2020;79:685-699.

## プロジェクト申請書様式

以下様式にてご作成ください。尚、記載は最大で 15 ページとします。フォントは MSP ゴシック、フォントサイズは 11 ポイントでお願いします。

<p>プロジェクトの背景・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。またこの目的が申請団体（施設）の目的とどのように一致するのか説明してください。</li> <li>学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の全体的な目的を列挙してください。</li> <li>この目的には、対象者に関する記載だけではなく、プロジェクトの実行によって得られるであろう成果についても記載してください。</li> </ul>
<p>プロジェクトのニーズ評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況（プロジェクト対象者のレベルなど）を記載してください。（定量的なデータの記載が望ましい）。</li> <li>データの収集に使用されるソースと収集方法について記載してください。</li> <li>現在のレベルと目標とするレベルとの間にギャップが存在することを判断するために、データを分析した方法を記載してください。</li> <li>ギャップ分析がまだ実施されていない場合は、この情報を取得するためのプランも含めてください。</li> </ul>
<p>プロジェクト対象者 （受講者）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの主な対象者（受講者）、及びその対象者の数を記載してください。</li> </ul>
<p>プロジェクトデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。</li> <li>プロジェクトに教育イベントが含まれている場合は、そのイベントのトピックと開催形式（セミナー、ワークショップなど）を記載してください。</li> </ul>
<p>プロジェクトの画期性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した（もしくは進行中の）プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。 * <u>応募プロジェクトの画期性は“審査時の評価基準”には含めず、参考情報として取り扱います。</u></li> </ul>
<p>プロジェクトの評価・結果の測定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラクティス・ギャップが解消されたかどうかを、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>判定に使用するデータソース</li> <li>データの収集・分析方法</li> </ul> </li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評価結果とプロジェクトの因果関係を判断する方法</li> <li>● プロジェクトの予想結果を“プロジェクト対象者(受講者)”の観点から定量化してください。(例:ベースラインから10%上昇する)</li> </ul>
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクトの開始日/終了日、及び全体のスケジュールを記載してください。</li> </ul>
その他、プロジェクトに関する追加情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● その他、上記以外の情報があれば、記載してください。</li> </ul>
申請団体・プロジェクトメンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請団体(施設)についての詳細を記載してください。</li> <li>● プロジェクトメンバーを記載してください。</li> <li>● 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。</li> </ul>
予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予算を見積もる際には、以下の点に留意してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 弊社からの助成金は「個人費用(懇親会費などの飲食費用、一般参加者の参加費・交通宿泊費など)」や「プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、カメラ、家具、医療機器など)の購入」、「医薬品の購入」、「テキスト、教科書の購入」、「プロジェクトメンバーの人件費」には使用できません。</li> <li>○ 団体(施設)へのオーバーヘッド(間接費用)は、総予算の28%を上限に計上することができます。ただし、この費用を含めることにより、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。</li> <li>○ 消費税込で記載してください。</li> </ul> </li> </ul>